



令和3年10月21日

第 66 号

さくほ

2021 10

議会だより



Can Do!
～みんなで心をつに～
小6感謝
ぼくたち・わたしたちの姿

発行：佐久穂町議会
議長：石井 正行
編集：議会広報編集調査特別委員会
〒384-0697
長野県南佐久郡
佐久穂町大字高野町569
TEL.0267-86-2556
印刷：キクハラインク有限公司

いいね
押してね

さくほ議会
Facebookもチェック

さくほ議会 検索



9月定例会

- ・令和3年補正予算ほか……………P2・3
- ・令和2年度決算認定
子どもにもわかるさくほのお金…P8・9

一般質問……………P5～7

- ・若者・子育て世代増加の施策は
- ・地学を取り入れた防災教育が必要では 他

今回補正の主な事業

**がんばろう佐久穂応援チケット
の販売及び支給（12月予定）**
（5000円で7500円分の買い物ができる券
を1人4冊まで購入可能）

**児童クラブに入退室管理システ
ム導入、子どもセンターのWi-Fi環境
整備（250万円）**

**保育園、小中学校の給食費
無償化を令和4年3月まで延長**

**コロナウイルスで影響を受けた
事業者への補助事業**
飲食業・宿泊業・農林水産加工業とそれらに納品
している卸業者、1事業者10万円支給
（宴会を伴う宿泊業は20万円）

第2次佐久穂町
総合計画

第2期佐久穂町
コミュニティ創生戦略

佐久穂町実施計画
事業計画書

佐久穂町過疎地域持続的発展計画の策定

活力ある地域づくり

持続可能な地域社会

旧八千穂村地区が「一部過疎」に指定されたことにより、
「佐久穂町過疎地域持続的発展計画」の策定が議会で可決されました。

議会改革特別委員会報告 その2

本年度の改革課題を決定

改革課題候補
18件

選定

短期で取り組む課題（令和3年～4年度）

1. 町民との関わり事業（議会報告会や、意見交換等の開催）
2. 情報公開・広報活動（活動の充実）
3. 議会の災害対応改善（対応強化）

中・長期で取り組む課題（令和3年～5年度）

1. 議員定数の見直し
2. 議員報酬の見直し
3. 議会のICT化推進

今後の作業の進め方

今後の作業は、課題ごとに検討チームを設け改革計画案を作成し、特別委員会に提案の上、全員で協議・決定し、改革作業を推進して行きます。

改革は委員全員（13人）が取り組む

議会改革特別委員会は議員全員参加で発足しましたが、7月に高見澤研二議員が一身上の都合により委員を辞任しました。改革には全委員が一丸となって取り組みます。

令和3年第8回（9月8日～9月22日）

9月定例議会

町長招集
あいさつ

ピックアップ

8月の大雨で町内でも農地など10ヶ所で
総額1400万円の被害を受けました。

新型コロナウイルスワクチン2回目接種
済の人は65歳以上で91.5%、12歳以上
で71.6%に達しました。接種希望者全員
の早期接種を目指します。（8月末日現在）

8月29日町内全域で防災訓練が実施され、
2764人（25.6%）の町民が参加しまし
た。

旧八千穂村地区が一部過疎の指定を受け
たため、佐久穂町過疎地域持続的発展計
画（5か年）を策定しました。

町ではLINEの公式アカウントを取得し
ました。身近な情報をより手軽にお届け
します。

町も出資する小水力発電所の起工式が、
8月18日に八千穂高原で行われました。

第1回佐久穂リビングマーケットが7月
18日に役場庁舎前で開催されました。
町民の新たなチャレンジを応援します。

（仮称）道の駅「八千穂高原IC」の基本計
画を策定する委託先が決定しました。今
年度中に内容・規模等を決定する予定で
す。

佐久穂産プレミアムオータムキュートの
ブランド名が「紫稀～SHIKI～」に決定
しました。佐久地域の生食用プルーン全
体の知名度アップに努めます。

町立千曲病院では、10月から1名・来年
4月から2名の常勤医師を増員します。

新型コロナウイルスの抗原検査とその結
果に応じたPCR検査が行える体制が6月
に整いました。検査数は抗原検査885件、
PCR検査32件です。（6月1日～9月4日）

補正予算

6億5554万円増で総額87億8257万円の令和3年度補正予算承認される

主な歳入

地方交付税	1億2700万円	
新型コロナウイルス地方創生臨時交付金	9244万円	他

主な歳出

新庁舎建設事業（庁舎進入路の土地測量委託料）	211万円	
商工一般経費（佐久穂応援チケット／コロナ禍の事業者への補助金他）	2億9702万円	
過疎対策事業（道路維持改良費 7ヶ所）	8690万円	他

将来成功だったと言われる道の駅の状態は

出浦 修身



町長 立ち寄りしたい。行ってみたい。作ってよかった、そんな道の駅です。

問 (仮称)道の駅「八千穂高原IC」の建設事業は、令和6年開業に向け、計画通り進んでいるか。取り残しはないか。

町長 平成30年に事業を開始しましたが、東日本台風や新型コロナウイルスのパンデミックにより、環境が大きく変化し、計画が現実と乖離していますが、事業スケジュールは令和6年開業に向け、進めています。

総合政策課長 事業スケジュールは広報さくほ2月号の公表資料の通りですが、基本計画はサウンディング調査等の結果を盛り込むため、本年12月末となります。そして、令和4年度に実施設計し、令和5年度の建築工事着手としています。

問 計画へのパブリックコメントで、物販・飲食施設を町が公設しない事への意見はどうだったか。

町長 選定については選定委員会を設置し、選定委員会委員の評価採点基準項目ごとに採点を行い、評価点が基準点以上であり、取組み方法や実績を総合評価しています。

総合政策課長 審査方法は、募集日程の中、応募は1社のみでしたが、書類審査、プレゼンテ

たか。

総合政策課長 事業用地の活用方法では、公設民営での建設が望ましいとの声もいただいています。

問 5月に実施した(仮称)道の駅「八千穂高原IC」の基本設計ほかの公募型プロポーザルは、告示から参加表明締切りまでが10日間と厳しく、応募が1社のみで、比較検討や優劣の評価ができないまま決定したが、締切りの延期や再公募の選択肢はなかったか。

町長 選定については選定委員会を設置し、選定委員会委員の評価採点基準項目ごとに採点を行い、評価点が基準点以上であり、取組み方法や実績を総合評価しています。

総合政策課長 審査方法は、募集日程の中、応募は1社のみでしたが、書類審査、プレゼンテ



道の駅建設予定地

ーション・ヒアリング審査を行ない、技術提案の内容、実効性実績などを総合的に評価し、適格と判断し選定しました。

問 技術提案書では「森と水の恵みをより実感できる道の駅」として、

この場所の特産品の購買や飲食、そして川遊びや釣り体験など幅広い事業展開を提案しており、評価できると思うが、町はどう思うか。

総合政策課長 計画地の地域資源を活かし特色ある道の駅の在り方の提案であり、整備にあたり良い提案は取り入れたい。

問 5年後、10年後に「道の駅を作って成功だった」と言われる道の駅の状態は。

町長 道路利用者が立ち寄りたいたいと思ひ、町外在住者が行ってみたくて場所、そして地域住民がつくって良かったと思える場所になるよう努めます。

文化財の保管管理策の強化について

問 (仮称)佐久穂文化財等収蔵館に収蔵中の、「興水太仲コレクション」の昆虫標本の現在の保管管理は、長期保存に耐えられない心配があり、改善できないか。

教育長 寄贈搬入された標本は、ご自宅の保管状況維持を最優先し、現在はロールカーテンで紫外線対策を実施しており、今年度はLED化工事を実施し、紫外線対策を強化します。

千曲病院の今後の戦略の方向性は

高見澤 利博



町長 組織変更を行い地域医療福祉部門を立ち上げてまいります。

ゴミの減量化・リサイクル推進

問 6月の粗大ごみ回収では、国道まで車列が続く事態となった。交通渋滞を招くとともに茂来館の業務にも支障をきたしかねない。どのように認識し、対策を講じていくのか。

町長 町としてごみの減量化・リサイクル推進に努めています。当日は交通渋滞を引き起こしたことは事実であり、対策を講じていきます。

問 対応する職員の数が年々増えている負担となっているのではないか。

住民税務課長 必要最低限の人員で対応しています。超勤手当や代休については規程に添って運用しています。

問 家庭ごみの回収について陶磁器などを一か所での回収にできないか。

町長 蛍光管、乾電池の資源ごみについては役場庁舎北側、旧八千穂庁舎駐車場に回収用ステーションを、また陶磁器は役場庁舎北側に設置しています。



粗大ごみ回収の様子

問 小中学校ではどのような環境教育が行われているか。

教育長 新学習指導要領に基づき小中学校では、ごみ問題を含めた環境問題の学習を行っています。コロナウィルス感染症拡大防止の關係で中止となりましたがごみ処理場の見学も予定していました。

問 町の総合計画とSDGsを結び付けた学習はどうか。

総合政策課長 今年度は後期5か年の基本計画を策定する年度になっています。その中にSDGsを表示する予定です。

こども課長 学校の先生方との協議で、この計画の一部を抜粋して教材にすることは可能との回答をいただいています。

姉妹都市との交流事業

問 府中市との交流の中で防災協定はどのようになっているのか。空き家対策として府中市には手厚く情報提供できないか。また人的交流として一定期間職員の交換派遣を行うことはできないか。佐久穂の生産品・特産品を送るのに送料負担など支援できないか。

町長 平成26年に、災害時における姉妹都市相互応援協定を締結しています。主に大日向小学校関係者で移住希望者が多く府中市向けに情報提供は難しい状態です。職員の交流についてはコロナ等の状況が変わりましたら府中市との協議を検討してまいります。基幹産業としての農業への支援は行いますが、流通に係る経費については商行為であるので支援の考えはありません。

問 今、千曲病院は大変な時を迎えておりますが、その対策案は。

千曲病院事務長 令和元年9月26日に厚生労働省が突然に「再編・統合の必要性がある」と公表された対象病院です。1床につき90万円強の交付税基準額が示されておりますが、今後基準額が減らされてくる可能性もあります。現在、当院には常勤医が3名、週4日勤務医が2名、他は非常勤医師で、97床の病棟管理、外来診療及び人間ドック、近隣施設の医療的管理、訪問診療等を行っており、当然当直、日直もあり常勤医の確保が最優先です。幸いにして、10月より1名の常勤医

確保ができました。さらに来年4月から医師2名の確保が確定いたしました。その上で、それぞれの立場で徹底的に質を上げていきたいと思っています。

問 人間ドックの取り組みと考えは。

千曲病院事務長 日帰りの半日人間ドックを1日8名ずつ受け入れて、人間ドック学会の指針に併せて対応しております。個人の希望で追加検査もしており、現在、どのような追加検査が有効か検討中です。全身のがんを見つけていくような医療機器は、10億円単位の投資となり読影技術等も必要になります。当院では身の丈に合った範囲での検討を進めていきたいと考えています。

問 創生戦略はどう進めていくのか

千曲病院事務長 町民の皆さんと遠い距離感であれば愛されるはずがありません。情報や人間関係等を含めた「質の担保」が重要です。特に「医療の質の担保」は必須です。医師を筆頭に常に研鑽を続けながら質の担保を図り、千曲病院を受診してよかったと言われるように進めていきます。

問 「がん教育」について、医療従事者による生きた授業を推進していくべきでは。

教育長 がん対策基本法の制定により、中学校の新しい学習指導要領の中に、がんの予防という項目が明記され2021年度から全面実施することとされまして、教科書に沿って授業を進めてまいります。



千曲病院

感染症対策と

今後の対応は

須田 芳明



町長 ホームページなどを活用して町の方針をお伝えしています。

問 町独自の対応策と経済対策は。

町長 過度な負担がかかっている状況を緩和する対策として、新型コロナウイルス特別支援金事業総額820万円を町として

予定しています。さらにプレミアム商品券、がんばろう佐久穂応援チケットを12月に発行する予定です。関係予算として約2億8883万円を計上させてい

ただきました。

産業振興課長 町として経営が疲弊した事業者への経営支援のための支援を予定したところで

問 経済対策として予算計上に至った経緯は。

産業振興課長 新型コロナウイルス第5波が収まるころに経済対策をしなければならぬということで予算を上程したところです。

問 県の時短要請の対象外となった、佐久穂町の飲食業の皆さんに対する支援策として、商工会を含む関係者の協議はどのように行ったか。

産業振興課長 この前段、支援金を創設するにあたり、商工会の飲食店の皆さんと意見交換させていただきました。

問 各種事業、イベントを今後どのように実施していくか。

町長 県のレベル4までは、イベント等の実施の可能性を探ります。レベル5では中止もやむなしと考えます。

問 町有施設を利用する町民の皆さんに対して、どのような対応をしていくか。

町長 町施設の感染拡大防止対策として、庁舎及びこどもセンター入口に自動体温測定器を設置する予定です。人的資源も含めて、できる限り対応していく

しかないと考えています。



茂来館入り口の検温装置

具体的対策方法などを指導しているところです。

問 地域医療体制の充実として、病床の確保など対応策を検討してほしいが。

千曲病院事務長 新型コロナウイルス対策は緊急事態だと考えています。全力でやらせていただきたいと思います。

問 ワクチン接種の啓発について。

問 住民の安心安全を担保するには単独予算をつぎ込んで、スピーディに対策を実施することが必要。町長の専決処分もやむなしの事態と思うが。

町長 台風19号災害で何十億単位の専決処分をしました。専決処分は今回考えませんでした。

問 住民への対応と周知方法は。

町長 感染予防対策の相談は、総務課、健康福祉課で受けており、県が定めた基準の説明や、

地学を取り入れた防災教育が必要では

高見澤 春野



教育長 ハザードマップ等を用いた授業を実施していけたらと考えております。

問 現在計画中の（仮称）道の駅八千穂高原ICは、「防災道の駅」として構想されているのだがその内容は。また、地域の避難所としての機能は。

総合政策課長 近年頻発する災害やコロナ禍に対して広域的な防災拠点として位置付けられる道の駅を「防災道の駅」としています。指定されると国からの支援措置もありますので、本計画でも支援制度を含め、導入の可能性を検討します。

また、避難所としては地元からの要望もいただいております。町内では千曲川西側に防災拠点が少ないことから、検討していきたいと考えています。

若者子育て世代の移住・定住を促進するには

問 第二期コミュニティ創生戦略では、人口目標として2045年に1学年2クラスを維持できる70人の確保を挙げている。この目標を達成するための道筋は。

町長 町で策定した人口ビジョンでは目標達成のためには合計特殊出生率を1.96まで上げること、20〜30代の若年層とその子ども世代の転入が毎年20人程度増え続けることを必要としています。出生率は令和2年度で1.07であり遠く及ばない状況です。目標達成のため各課が連携して取り組んでいます。

総合政策課長 町ではコミュニティ創生戦略に基づき、子育てしやすい環境の整備や、転入希望者に対して賃貸・売買物件が不足しているため空き家バンク制度の推進、空き家の利活用を促す啓発活動

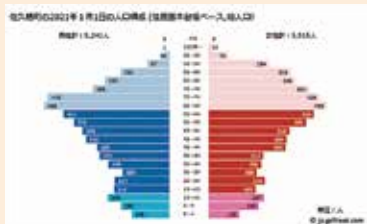
の開催を予定しています。また、子どもたちの愛郷教育、キャリア教育の推進や奨学金返済支援補助金制度などUターンを促す施策を行っています。

問 転入希望者の受け皿としての住宅・宅地造成をどう考えるか。「若者定住促進住宅」など試みてはどうか。民間事業者との連携をどう進めるか。

町長 「若者定住促進住宅」は入居年数によって住宅譲渡価格が下がる仕組みです。すから長く住んでもらう目的にはなっていますが、他の賃貸住宅等との格差などが懸念されることから、増やす考えはありません。新たな宅地の造成を町が事業主体として行うことは考えていません。民間事業者との連携では、事業者が直接行うアパート新築等への建設費支援なども引き続き検討してまいります。

問 住宅新築助成金は住宅の新築には使えるが、親と同居するためのリフォーム工事には適用されない。これは不十分ではないか。

町長 リフォームに対する助成金は課題ではありますが、固定資産税等が新築とリフォームでどうなるか、また二世帯住宅の定義など色々な問題があり進んでいません。今後鋭意検討してまいります。



2021年佐久穂人口ピラミッド
© jp.gdfreak.comより引用

災害時の「避難」対策

問 指定緊急避難所（90か所）に現実的ではないところがあるのでは。

町長 現実的に使用される見込みが全くない、その場所そのものに全ての災害に対してリスクがある、その場所に移動することが危険であると判断されれば、立地実状に照らして本年度中に防災計画の見直しにあわせて検討したいと考えています。

問 要支援者の避難計画の作成状況は。

町長 現時点で計画の策定は具体化していません。関係機関等と協議を行い検討を進めていきます。

問 指定されている福祉避難所を補完する施設との連携は考えられないか。

町長 ほかの施設を指定することは考えていません。

問 (旧)佐久西小学校体育館は避難所としてどのように整備されたのか。

町長 令和2年9月にそれまで止めていた電気と水道を開設し、その後定期的に清掃しています。体育館の器具庫は重要な災害物品の備蓄倉庫として活用しています。お盆の長雨の際、自主避難所として準備しました。使用には至りませんでしたが、その時の様子は映像として残しています。

防災教育の必要性

問 災害を経験した私たちは自分の住む地域の地形や地質を知ることが大事であり、次代を担う子どもたちには地学を取

り入れた自然教育、防災教育が必要では。
教育長 自分の住む場所を確認する良い機会と捉え、ハザードマップ等を用いた授業を実施していきたいと考えています。
治水対策
問 流域治水の今後をどう考えるか。
建設課長 流域治水の取組には三つの柱があります。一、河川整備、二、流域における雨水貯留等、三、まちづくり、住民避難です。町としては一級河川を整備する国や県に引き続き強く要請していくとともに、雨水貯留等の取組みや住民の皆さんが自分の住む場所にごんな危険があるか確認できるハザードマップの整備などに努めていきます。
問 雨水貯留タンク設置に対しての助成制度を考えてはどうか。
町長 流域治水の観点で見れば重要な一つと考えています。上流域町村として何が当町では最も有効か、何が良い取組みなのか検討しています。
問 19年の台風19号災害を受けて緊急浸漬事業費が創設されたが24年度までの5年間の時限措置である。土砂の堆積による河床の上昇は避けられないので定期的な浚渫は必要。時限的な制度を恒常化する必要があると思うが。
町長 過去にも防災・減災に関する地方債で時限措置が延長された例もありますので、恒常化について県とともに国への要望に努めていきます。



しらかばちゃんが解説!

子どもにも わかりやすい

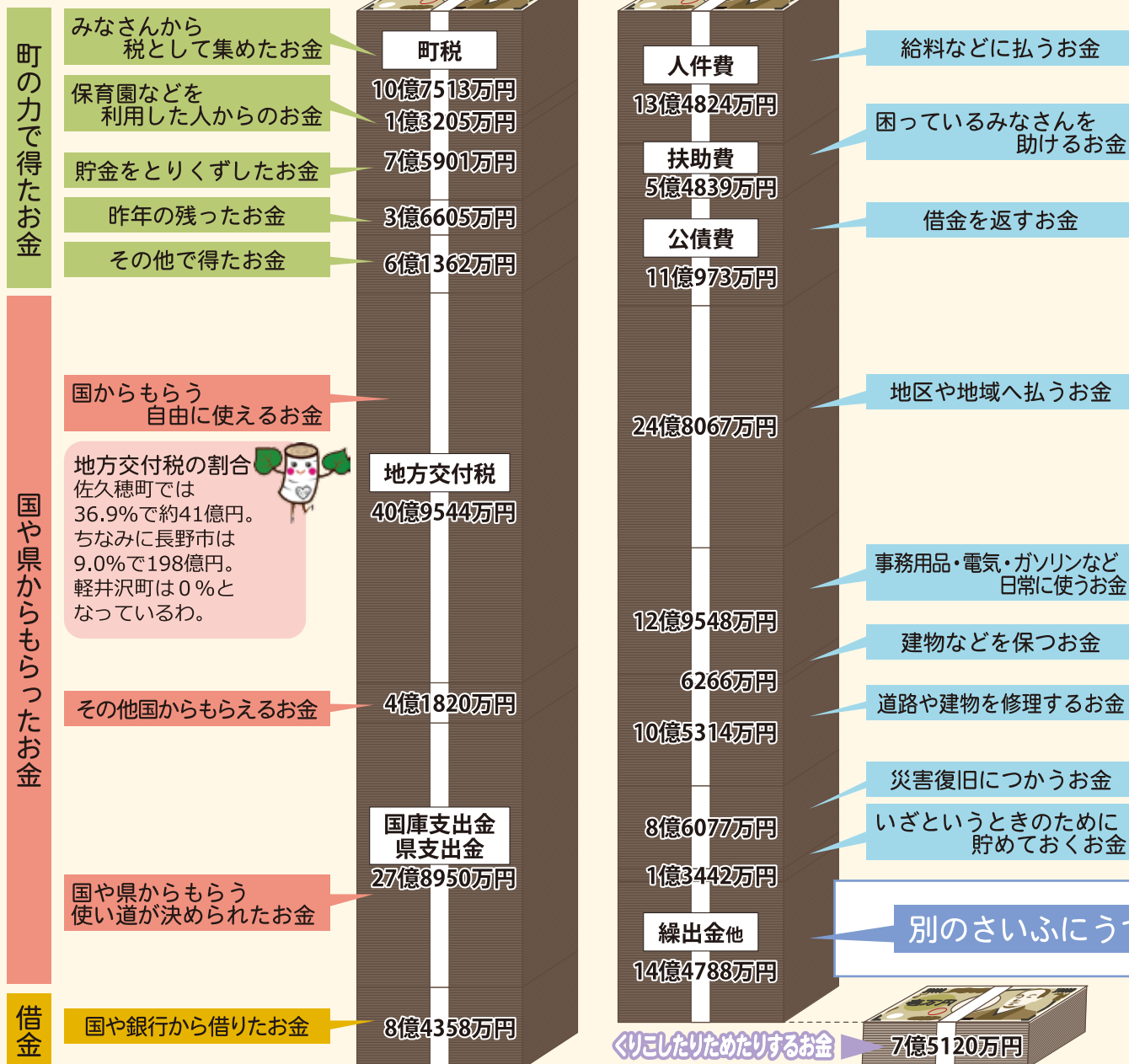
さくほのお金

令和2年度
決算

入ってきたお金
110億9258万円

ふつうの
さいふ
一般会計

使ったお金
103億4138万円



令和元年度決算の詳細につきましては広報さくほ10月号
又は佐久穂町ホームページ
(<https://www.town.sakuho.nagano.jp>)
をご覧ください。

令和元年度
決算については
こちら



QRコードを
使うには?

App Store か google playからQRコードリーダーをダウンロードし、そのアプリでコードを撮って!

気になる佐久穂町の 借金と貯金

(一般会計) 令和3年3月末時点

借金(町債)
46億9567万円

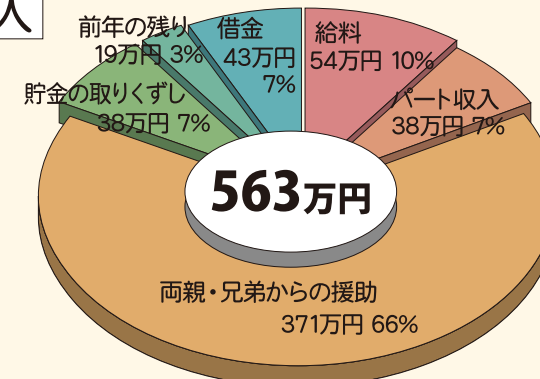
貯金(基金)
63億7878万円

(町民1人あたり)
約43万9217円

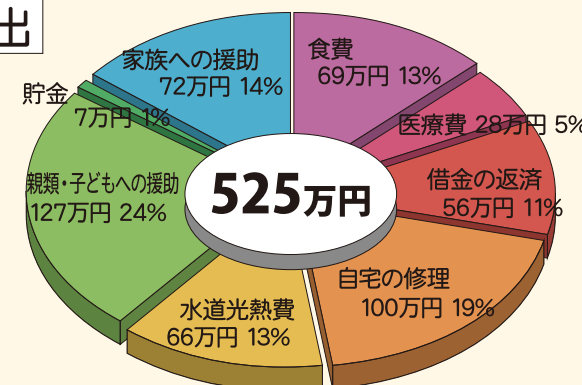
町民1万691人で計算

(町民1人あたり)
約59万6649円

収入



支出



借金残高
238万円

(令和2年度決算時)

貯金残高
324万円

専用のさいふ

特別会計



国民健康保険特別会計

① 12億1083万円
② 11億7193万円



千曲病院専用のさいふ

収益的 ① 14億9162万円
② 15億9247万円

資本的 ① 2億6019万円
② 1億9880万円



老人保健施設専用のさいふ

① 4億201万円
② 3億7947万円



他にも6つの専用
さいふがあるのよ

■ 経済福祉 常任委員会

9月定例会の本委員会では、所管する健康福祉課、産業振興課、建設課、老人保健施設及び千曲病院に係る、令和2年度の会計歳入歳出決算の認定案6件、令和3年度の補正予算案6件と条例改正案1件の議案審査を行いました。関係部局の説明を受け、慎重審議の結果、各案件とも、原案通り、認定、承認、可決すべきものと決しました。



建設課現地審査の様子

令和2年度 歳入・歳出決算の認定

建設課

問 ため池のハザードマップの作成について詳細は。

答 町内23箇所のため池のうち、県から防災重点ため池として指定された7箇所で、下流に人家や重要公共施設などがあり、氾濫・決壊した時に重大災害の恐れのあるため池について作成し、影響範囲の住民に全戸配布しました。

問 各地区に道路等の補修原材料支給があり、令和2年度は623万円が支出されているが上限等支給基準はあるのか。

答 基準は設けてありません。各地区の「おてんま」の中で使用する資材費になりますが、本来、町で行うべき修理工事を地元でやっていただくことは大変ありがたいことです。したがっていままで今のところ上限などの制限は考えておりません。

問 台風19号災害における農地・農業用施設災害復旧工事の実施状況は。

答 台風19号災害における農地・農業用施設災害復旧工事の実施状況については、以下のとおりです。

事業	地区数	R2完了地区	施行中	未発注
農地	85	35	50	0
農業用施設	81	25	56	0

産業振興課

問 千曲バスの白駒線は利用率が大変低い、一度廃止をすると復活が困難なため継続をしていると思う。利用率を上げるためにどんなPRをしたのか。

答 運行表が作成してありますが、令和2年度につきましてはコロナ感染症の関係で大々的な動きはできませんでした。令和3年度は東京方面等中心にPRしています。

老人保健施設

問 収入未済額がかなり多く計上されている。しかも過年度分がほとんどということだが特別な事情があるのか。

答 過去の老健利用者からの利用料が回収できていないものです。現在も支払いのお願いをしていて、前年度よりも若干の改善は見られています。

令和3年度 歳入・歳出補正予算

健康福祉課

問 地域おこし協力隊設置事業で、農福連携はなかなか難しい事業であるが、町のサポートはどうなっているのか。

答 1年目は「顔をつなぐ」ところから連携を進めています。町としては農政からの情報提供等のサポートをしているところで、まだまだ十分ではありませんが、10月に入ってジェイエー長野会との話し合いを持って検討をしていきます。

産業振興課

問 がんばろう佐久穂応援チケットを12月から販売するということが、前回の検証は十分にされているのか。

答 販売数・購買人口等検証をもとに決定しています。ポスター・チラシ等は大きさなどを変えて進めています。

千曲病院

問 簡易陰圧装置や空気清浄除菌脱臭装置の購入はコロナ感染対策か。

答 新型コロナウイルス感染症対策でもありますが、入院患者さんの環境整備や医療従事者の防護にもなります。

問 10月より常勤医師1名が着任するとの説明だが診療科は。

答 10月1日より組織変更をします。「地域医療部門」を独立部門として、新たに着任する医師にはこの部門を責任をもって統括していただきます。専門は外科になりますが、本人の希望もあり総合的な診療の方向で、得意な内視鏡検査及び訪問診察なども積極的に行う予定です。

委員会活動から ～委員会審査～

■ 総務文教 常任委員会

認定案4件議案6件陳情1件が付託され、認定4件議案6件については認定可決されましたが、陳情1件についてはさらなる検討が必要ということで継続審査となりました。

令和2年度 佐久穂町歳入歳出決算の認定

総務課

問 羽黒下八千穂両駅とも手数料収入と委託料に大きな隔たりがあるが。

答 費用対効果の面では見直す必要がありますが、そこに職員がいてサービスがしてもらえということが駅利用者・特に住民にとって必要と考え、委託をお願いしています。

住民税務課

問 福祉施設ごみ処理業務委託とは。

答 陽だまりの家の皆さんに、家庭ごみで回収されたラベルが付いたままのペットボトルのラベルはぎ・ライター・金属部分の分離・食品トレーの分別等をお願いしている事業です。



こども課

問 スキー場が直営から民間に代わっているが、スキー教室のレンタル料リフト代等は折衝して安くなっているか。

答 譲渡契約要綱の中で優遇をお願いしました。

問 スクールバス運行費が昨年より127万円程増えているが。

答 バス路線が1路線増え、バス6台ハイエース1台の7路線に変わったためです。



スクールバス

生涯学習課

問 月見公園の管理業務委託料が昨年の約6倍になっているが。

答 公園内樹木の伐採があり通年より業務量が増えたためです。

総合政策課

問 ふるさと納税の人数と返礼品の内訳は。

答 一般分で514名の方から1398万円を納税いただきました。返礼品として多かったのはハムでした。りんごやはちみつなどにも多くのご希望がありました。

令和3年度 佐久穂町一般会計補正予算

歳入歳出に6億5554万円を追加するものです。

総務課 町営住宅管理

問 町営住宅の修繕費の内容は。

答 老朽化により全体に不具合が出ています。今回シロアリ対策も必要になっています。

住民税務課 塵芥処理事業

問 清掃センターのカメラ設置とは。

答 センターへの不法投棄が増えています。犯罪の抑止力のためにも夜間対応可能なカメラを2ヶ所設置します。

こども課 放課後児童健全育成事業

問 こどもセンターの入退室管理システムとは。

答 連絡を希望する家庭に子どもたちの入退室状況を通知するシステムです。センター全体の管理や問い合わせは現行どおりの台帳管理をします。

総合政策課

問 地方創生臨時交付金の振り分け先は。

答 今回の補正予算分では学校給食無償化の延長・がんばろう佐久穂応援チケット事業・飲食業宿泊業等事業者支援事業などです。

議会直撃インタビュー!!

佐久穂中学校トピックス

がんばる
さくほの
チヨ一民

【スポーツと音楽 2つのチーム奮闘記】

佐久穂中学校で飛び切りうれしいニュースが！ 議会広報員が取材に出向くと・・・

●佐久穂中学校卓球部 北信越大会～全国大会出場へ



保護者の皆様、地域の皆様のお力をいただき、部員全員で努力し、県大会、北信越大会、そして、全国大会へと駒を進めることができました。佐久穂中学校卓球部にご協力いただいた全ての皆様に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。
卓球部顧問 田中 信夫

「佐久穂中学校卓球部」 先輩と後輩の仲がとても良く、練習が始まると全員が真剣に取り組めるメリハリのあるとても良い部活です。
部長 9年 幸崎 茜花里

「北信越大会に出場して」 北信越大会の選手は、技術だけでなく、礼儀も良く、見習うことがたくさんありました。参加できた機会を生かし、自分自身を見直し、自分を成長させていきたいです。

キャプテン 9年 古屋 耕輝

「支えられてつかった全国出場」 全中はハイレベルな戦いでした。この経験を伝え、より一層感謝の気持ちを持ち、佐久穂中を引っ張っていきたいと思います。

全中出場 8年 富岡 仁

●佐久穂中学校吹奏楽部 悲願の金賞受賞～県大会へ



今年度の吹奏楽部9年生15名が、先輩方からの伝統を引き継ぎ、礼儀正しく、まじめに、仲良く練習に取り組む部活を作ってくれたおかげで、東信大会で金賞をいただき、県大会に出場できました。たくさんの応援ありがとうございました。
吹奏楽部顧問 芝野 香織

いろいろな大会がコロナウイルスの影響で中止になっても音楽が好き、楽しいという気持ちを忘れず、部員一丸となって練習したことで県大会へ出場できたと思います。今まで指導していただいた先生や講師の先生方に感謝いたします。
吹奏楽部部長 9年 豊永 夏帆

初めて2階席があるホールで吹いた感覚は、忘れられないくらい楽しかったです。いい思い出になりました。

副部長 9年 篠原 春奈

曲の表現しているものを想像しながらたくさん練習して、本番では聴いてくださる方たちに伝えられたと思うので良かったです。

副部長 9年 相馬 佳奈

※編集後記

チームの努力が実ったとき、そこに感動が生まれます。コロナ禍においても、“楽しい”を超えるワクワクした気持ちで毎日を過ごせたらいいですね。

広報編集調査特別委員会 須田芳明

